

夢中の深層

- 大人になって、**何かに心を奪われたこと**がありますか？
- 我を忘れるほど**、ひとつの**物事に熱中したこと**がありますか？
- 大人を夢中にさせるもの、その正体とは…。大人はなぜ夢中になるのか、その深層に迫る

中野信子（脳科学者・医学博士）

テーマ：考える喜びを失わずに生きるということ

★”苦しい”は”楽しい”と脳が教えてくれた

(1) 意志を支配する「愛情ホルモン」

- ・ **人間関係を作る**ホルモン（オキシトシン＝**愛情ホルモン**）
- ・ 愛情ホルモンが出ているときは、**合理的で冷静な判断ができない**
- ・ **戦争**が起きる原因は、**団体としての愛情ホルモン**にある

(2) 3. 11以降の日本と週刊文春

- ・ 自国に対する**愛情が高いから相手を攻撃しやすい**、それが**正義であると思う**（ex.ﾊﾞｯｷｰ）
- ・ 内部の**裏切り者**に向かう時は、その人が全てを失って泣いて謝るまで**パッシングは続く**
- ・ **オキシトシンが高い**と、一見ポジティブに見えるが作用によっては**ネガティブになる**（**黒い喜び＝シャドウロイド**）
- ・ **嫌な奴が攻撃されて**ヒットしたとなるとその**喜びも大きい**（脳の線条体という報酬系の一部の復活が**アクティブ**になる）

(3) 支持政党は脳で決まる！？…未だ仮設ではあるが

- ・ 「DRD2」という**ドーパミンの受容体のバリエーションが違**うと米国では**支持政党が異なってくる**ようだ
- ・ より**寛容でリベラルな意思決定を好む**人たちと、**保守的な意思決定を好む**人たちというのは、実は**生得的にある**のでは
- ・ 今の民主主義の在り方というより、**一歩先を行くニューロポリティクスによる政治**を真剣に考えてもいいのでは
（ニューロポリティクス＝脳神経科学を用いた政治行動研究）

(4) 企業のトップの5人に1人はサイコパス

- ・ **サイコパス＝共感性に欠けた人**
- ・ 良い方向に行けば**客観的な仕事**ができるが、悪い方向に行けば**反社会的な行動**をとる
- ・ トランプ、ケネディ、クリントン、織田信長などが、**大胆不敵（恐れ知らず）な支配性**が特徴

(5) 脳科学者としての原点は「自分」と「世間」のズレ

- ・ 変な人、**浮いている人**である自分が**脳に興味を持った原点**です
- ・ 皆の振る舞いの原因を知って、**学習しなきゃ生き残れない**、知りたい本も世の中にない、**自分で研究するしかない**
- ・ 研究の結果「**人工無脳**」で、定形でない反応でない場合は**面白がってもらえる**事がわかってそれを受入れるようにした

(6) 脳科学者から見る「宗教」と「LGBT」

- ・ **集団性を高める**機能としての**宗教**をうまく使って**発展してきた人類**という観点から見てみたい
- ・ 瞑想状態にあるときに脳がどうかとか、オカルトと一見思われているようなことの研究をレビューする
- ・ LGBTのように**逸脱者**と考えられてきた人が、実は社会進化の観点から**すごく重要な役割**を果たしている

(7) 「苦しみを燃やして生きる」

- ・ なんで私生きてるのかしら
- ・ **苦しいうちが華**、全部うまくいくと、だんだん人生が**消化試合**みたいになっちゃう
- ・ 人生が**消化試合**みたいになることほど**つらい**ことはない
- ・ **楽しいなと思える**のは、その問題が解決して**半年くらい**、次はやっぱり**苦しみ**となる
- ・ 苦しみながら困難にチャレンジしている人は、それが**いちばん幸せ**だと思え
- ・ 「**問題解決しなきゃ**」という時に出る**ドーパミン**、これは私たちの**活動の原動力**となっている
- ・ ドーパミンは、**同じ状態が続くと出なくなる**、心地よさがなくなってしまう